

日本语能力考试辅导丛书

周庆玲 王升远 主编

日语 实用 语法



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

日本语能力考试辅导丛书

日语实用语法

主 编 周庆玲 王升远
参 编 国 蕊 徐芳芳
叶 枝

上海交通大学出版社

内 容 提 要

本书面向一般的日语学习者,内容比较浅显,主要针对日本语能力考试的要求编写,初级篇根据语法项目分章节,中级篇根据句型条目分节编写。读者可以使用本书循序渐进地学习,也可以把本书作为考前复习的辅导书使用。

图书在版编目(CIP)数据

日语实用语法/周庆玲,王升远主编. —上海:上海交通大学出版社,2010
(日本语能力考试辅导丛书)
ISBN 978-7-313-06098-3

I. 日... II. ①周... ②王... III. 日语—语法—水平考试—自学参考资料 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 212232 号

日语实用语法

周庆玲 王升远 主编

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030)

电话:64071208 出版人:韩建民

上海交大印务有限公司印刷 全国新华书店经销

开本:880mm×1230mm 1/32 印张:8.125 字数:232 千字

2010 年 2 月第 1 版 2010 年 4 月第 2 次印刷

印数:3 031—6 060

ISBN 978-7-313-06098-3/H 定价:17.00 元

版权所有 侵权必究

前 言

《日语实用语法》是面向初、中级日语学习者编写的一本日语语法参考书。

长期以来,我国日语语法书籍的编写大致可分为“顶天”、“立地”两种类型:前一种属纯学术性质的,以专业研究者为潜在读者,晦涩难懂;后一种则视为纯粹的教辅书,以为数众多的“过级考试”考生为目标人群,直奔主题,难免流于浅显。如以“标”、“本”之说论之,则前者重在治本,后在旨在治标。过于深奥的理论阐释和简单的语法罗列似乎都难以在现实应用层面给读者以较为恰切的指引,因为缺乏一个“度的平衡”。基于以上认识,我们试图在“天”、“地”之间确立自己的坐标——在不打破日语语法理论体系的前提下,兼顾实用层面对广大读者的指导意义,简明扼要、系统全面、循序渐进地讲解基本的日语语法知识,使初学者能在短时间内构筑起日语的语法框架。希望这本突出“体系性”、“实用性”和“易学性”的小书既能成为专业学子的益友,又可为一般读者视作入门指津之良师。

本书主要由初级篇、中级篇构成。初级篇在内容上包括体言(名词、代词、数量词)、形容词和形容动词、动词、助词、敬体和简体,旨在为学习者夯实必要的语法理论基础,从词性分类的角度归纳了初级程度日语学习者须掌握的一些基本概念、词形变化及其应用规则,以及由此所衍生出的国际日语能力考试三、四级程度的语法点,并配有与之相应的专项练习予以强化。在此基础上,中级篇以过级考试(国际日语能力测试)为抓手,以历年真题为统计源,对同一语法点(二级程度)的出现频度做了详尽、系统的统计和归类,并对各语法的意义及其接续方式进行了详细讲解,后附相关的例句和历年真题。从国际日语能力测试的命题思路而言,出现频率较高的语法点实际上

在日常学习、生活中也有广泛的运用。编者希望能通过语法讲解、结合真题示范达到两个目的：一、通过“回顾”实现“前瞻”，使以应试为目的的读者能对命题趋向有一个大体的判断，掌握考级要领，熟悉出题规律；二、中级篇学过以后，借助相应的词汇积累，使以一般日语学习为目的的读者达到日常阅读、会话基本无忧的程度。

本书的编写者均为长期奋战于日语教学一线的专业教师，对中国日语学习者的长项和短板有着较为深刻的体认，相信将对读者的日语学习有所帮助。

由于经验不足、学力所限，框架结构和具体讲解难免有不尽人意之处，疏漏与错误之处在所难免，敬请读者不吝批评指正。

编者谨识

2009年9月

目 录

初 级 篇

第一章 名词、代词、数量词	3
第一节 名词	3
第二节 代词	21
第三节 数词和量词	29
第二章 形容词、形容动词	36
第一节 形容词	36
第二节 形容动词	43
第三章 动词	48
第一节 动词基本形和动词分类	48
第二节 自动词和他动词	51
第三节 动词的简体和敬体	56
第四节 ます形	56
第五节 て形	59
第六节 た形	74
第七节 ない形	78
第八节 命令形	83
第九节 可能形	85
第十节 假定形	88
第十一节 意志形/推量形	90
第十二节 被动态	93
第十三节 使役态	97
第十四节 敬语	100
第四章 助词	107

第一节 助词的性质和种类.....	107
第二节 格助词.....	107
第三节 接续助词.....	115
第四节 副助词.....	121
第五节 终助词.....	128
第五章 敬体和简体.....	137

中 级 篇

第一部分 历年真题中曾出现的语法.....	145
一、出现过3次以上的30个重要语法	145
二、出现过2次的16个重要语法	171
三、出现过1次的52个重要语法	185
第二部分 历年真题中尚未出现的语法.....	213
一、14个句尾的表达方式	213
二、42个接续的表达方式	221
三、9个其他的表达方式	243
参考书目.....	254

初 级 篇

第一章 名词、代词、数量词

第一节 名词

一、名词的意义

名词表示事物、概念的名称，是为了与其他事物区别开来所命名的词。例如：花（花）、ペン（钢笔）、今日（今天）、写真（照片）、心（心）、夢（梦想）、東京（东京）、魯迅（鲁迅）等。日语名词的最大特点是没有词形变化，它后面接续「が、に、を、で、へ」等格助词可以构成句子的不同成分。

二、名词的分类

名词的数量多，范围宽，广义上的名词包括普通名词、专用名词、时间名词、代词和数词等多种。本书将代词和数词从名词中分离出来，独立构成章节加以说明。下面对普通名词、专用名词和时间名词的概念作一说明。

1. 普通名词。

表示同类事物的共同名称的名词。例如：“先生（老师）”、“学生（学生）”、“友達（朋友）”、“家（家）”、“愛情（爱情）”、“桜（櫻花）”等。这些名词并不特指某物，因此称为普通名词。普通名词又可以再分为实质名词和形式名词。以上所举名词都具有实质意义，因此又叫做实质名词。反之，像「こと、もの、わけ、はず」之类的词，形式上是名词却没有或很少有实质意义的名词就叫做形式名词。

2. 专用名词

只表示某一特定事物的名词，包括地名、人名、国名、书名等。
例如：“中国（中国——国名）”、“東京（东京——地名）”、“川端康成（川端康成——人名）”、“伊豆の踊り子（伊豆舞女——书名）”、“北京大学（北京大学——校名）”、“本田（本田——公司名）”等。

3. 时间名词。

时间名词是表示时间概念的名词。一般可分为表示某一时间点的时点名词和表示时间长短的时段名词。前者如“6時（6点钟）、9月15日（9月15日）”等，后者如“6時間（6个小时）、三日間（三天）”等词。

三、名词的用法

名词有如下常用用法：

(1) 名词后接助词“が”、“は”或“も”可做主语。

○ 秋が来た。/秋天来了。

○ このりんごはおいしいです。/这个苹果很好吃。

○ 李さんは学生です。王さんも学生です。/小李是学生，小王也是学生。

(2) 名词后接助词“を”做宾语。

○ 先生は本を読んでいます。/老师正在看书。

○ アイスクリームを食いたい。/我想吃冰淇淋。

○ テレビを見ますか。/你看电视吗？

(3) 名词后接助词“の”构成定语。

○ 北京は中国の首都です。/北京是中国的首都。

○ 王さんは去年の3月に日本へ行きました。/小王去年3月去了日本。

○ これは私の母の写真です。/这是我妈妈的照片。

(4) 名词后接“に”、“で”、“へ”、“と”、“から”等助词构成状语或补语。

- 大学で日本語を勉強する。/在大学里学日语。
- 花子さんは毎日バスで学校へ行きます。/花子每天坐公交车去上学。
- 友達にカメラを貸した。/把相机借给了朋友。
- 私は母とデパートへ行きました。/我和妈妈一起去了商场。
- 会議は10時から始まる。/会议从10点开始。
- (5) 名词后接「です/だ/である」等断定助动词，可以做谓语。
- これは雑誌です。/这是杂志。
- 田中さんは学生だ。/田中是学生。
- 北京は中国の首都である。/北京是中国的首都。
- (6) 名词单独构成独立语句节，作呼语。
- お母さん、バナナを食べたい。/妈，我想吃香蕉。
- 太郎、ちょっと来て。/太郎，你来一下。
- みなさん、お元気ですか。/大家身体好吗？

四、时间名词的特殊用法

时间名词的特殊性在于它在句中可以直接构成状语。但是，这种用法并不适用于所有的时间名词。

我们根据在句中能否直接构成状语使用，把时间名词分为3类。第一类可以直接构成状语，不用后接助词“に”；第二类必须后接助词“に”才能做状语；第三类可接可不接助词“に”。

(1) 第一类时间名词有：“昨日（昨天）、今日（今天）、今（现在）、さっき（刚才）、先週（上个星期）、今週（这个星期）、来週（下个星期）、去年（去年）、今年（今年）、来年（明年）”等。这类词是随着说话时间的变化，它所指时间也要发生变化的时点名词。

- 明日杭州へ行く。/明天去杭州。
- 王さんは今勉強している。/小王现在正在学习。
- 来年日本へ行くつもりです。/打算明年去日本。

(2) 第二类时间名词有：如“10時、9月15日、2008年”等，都是“～年、～月、～日、～曜日、～時”之类的不随说话时间变化

的、表示固定时刻的时间名词。

○ 4月1日に出発する。/4月1日出发。

○ 8時に先生と会った。/8点钟跟老师见了面。

○ 水曜日に会議がある。/星期三有个会。

(3) 第三类时间名词有“前日、翌日、春、夏、秋、冬、春休み、夏休み、冬休み”等。这些词所指的时间，有的是由“现在”以外某个特定时间之间的相对关系决定的，有的则具有一定的期限范围。

○ 卒業式の（翌日/翌日に）パーティーがありました。/毕业典礼的第二天举行了酒会。

○ （冬休み/冬休みに）家族といっしょに旅行をした。/寒假里和家人一起去旅游了。

五、形式名词的用法

形式名词是名词的一种，是指形式上是名词但不具有实质意义的一类名词。形式名词不能单独使用，只能和修饰它的定语（连体修饰语）一起使用。形式名词一般用假名书写。

常用的形式名词有：こと、もの、の、ところ、わけ、はず、ため、つもり、ほう、まま、とおり、うえ等。

1. こと

形式名词“こと”是从实质名词“事”转化来的。它表示抽象的事物或概念。

○ 彼は日本語で歌を歌うことが好きです。/他喜欢用日语唱歌。

○ 花子さんにとって、一番楽しいことは何ですか。/对花子来说，最快乐的事是什么？

以下是由「こと」构成的惯用句型。

(1) ～ることがある。

表示时常或有时发生的事情。相当于汉语的“有时……”、“时常……”。它的接续方式为：动词的基本形＋ことがある。

○ わたしは体が弱くて、ときどき病気になることがある。/我身体弱，有时生病。

○ 彼には会うことがある。/时常见到他。

○ 朝はバスに乗れないことがある。/早晨有时坐不上公交车。

(2) ～たことがある。

表示曾经有过某种经历。相当于汉语中的“曾经……过”。它的接续方式为：动词た形＋ことがある。

○ わたしは富士山に登ったことがあります。/我登过富士山。

○ 北京へ行ったことがありますか。/你去过北京吗？

○ それについて深く考えたことがない。/没有就那个问题深思过。

(3) ～ことができる。

表示有能力做某事，也可以表示有某种可能性。相当于汉语中的“能……”、“能够……”、“会……”。它的接续方式为：动词连体形＋ことができる。

○ 日本語を話すことができます。/会说日语。

○ 今日は病気ですから、学校に行くことはできません。/今天病了，所以不能去学校。

○ その計画は実現することができると思うか。/你认为那项计划能实现吗？

○ ここの施設は誰でも利用することができる。/这里的设施谁都可以利用。

(4) ～ことだから。

表示原因、理由。用于对说话人、听话人都熟悉的人物的性格或行为习惯等作出判断。需要灵活翻译。主要接表示人或物的名词。

○ 彼のことだからどうせ時間どおりに来ないだろう。/你还不知道他，反正不会按时来的。

○ 戦争中のことだから、何が起こるかわからない。/因为是战争年代，所以不知道会发生什么事。

(5) ～ことにしている。

表示自己的某种习惯。相当于汉语中的“坚持……”、“一直……”等。它的接续方式为：动词连体形+ことにしている。

- 毎晩 10 時に寝ることにしている。/我坚持每天晚上 10 点钟睡觉。
- 結婚以来、給料は妻に渡すことにしている。/结婚以后，我一直把工资交给妻子。
- 毎朝、健康のために早起きするにしています。/为了健康我坚持每天早起。

(6) ～ことにする。

表示个人主观做出某种决定，下某种决心。相当于汉语中的“决定”。它的接续方式为：动词的连体形+ことにする。

- 彼は風邪を引いたので、学校を休むことにした。/他患了感冒，不打算去学校了。
- この本を買うことにした。/决定了买这本书。
- これからは、甘いものは食べないことにしよう。/打算今后不吃甜食了。

(7) ～ことになる。

表示客观上做出的决定或事物发展的趋势、结果。相当于汉语中的“规定……”、“决定……”或“就会……，该……”。它的接续方式为：动词的连体形+ことになる。

- 来週、北京へ出張することになりました。/定于下周去北京出差。
- 会社をやめることになりました。/结果辞去了公司的工作。
- 学校で5時間、家で3時間、全部で8時間勉強することになる。/在学校学习 5 个小时，在家学习 3 个小时，每天总共学习 8 个小时。
- あの道を行ったら、もとの所に逆戻りすることになるよ。/走那条路的话，就会返回老地方了。

(8) ～ことになっている。

表示约定、日常生活的规定、法律、纪律以及一些惯例等约束人

们行为的各种规定。相当于汉语中的“规定……”。它的接续方式为：动词的连体形+ことになっている。

- 優勝した人だけに賞品を与えることになっている。/规定奖品只发给优胜者。
- 休むときは学校に連絡しなければならないことになっている。/学校规定，学生请假不来上课时必须要事先与学校取得联系。
- この会社では社員は一年に一回健康診断を受けることになっています。/这个公司规定职员每年接受一次体检。

(9) ～ことだ。

表示对对方提出较为强烈的劝告或要求。相当于汉语中的“最好……”、“应该……”。它的接续方式为：动词的连体形+ことだ。

- 風邪を早く治すには、ゆっくり寝ることだ。/要想尽快治好感冒，最好多休息。
- 合格したかったら一生懸命勉強することだ。/想要及格，最好是用功学习。
- 人前では余計なことは言わないことだ。/在众人面前最好不要多嘴。

(10) ～ことに(は)。

前面接表示瞬间感情活动的词语，用来表示对后续事物作感情色彩上的评价。相当于汉语中的“……的是”。它的接续方式是：“动词/形容词/形容动词”的连体形+ことに(は)。

- 誰かに見られると困ると思ったが、幸いなことに、誰にも見られなかった。/我想要是被人看见就麻烦了，幸运的是，没被任何人看见。
- 驚いたことに、何百人もの人がここに集まっている。/令人吃惊的是居然有好几百个人聚集在这里。
- おもしろいことに、私がいま教えている学生は、私が昔お世話になった先生の子供さんだ。/有趣的是我现在教的学生是过去曾经教过我的老师的孩子。

(11) ～ことはない。

表示没有必要。相当于汉语中的“无需……”、“不必……”。它的接续方式为：动词的基本形＋ことはない。

- 心配することはない。/不必担心。
- 電話をかけることはない。/用不着打电话。
- 彼に同情することはない。/无需同情他。

(12) ～ことか。

前面多与“どんなに”“なんと”“どれほど”等副词呼应使用，表示强调、感叹，是强烈的肯定。

- 長い間、どんなに会いたかったことか。/一直以来，是多么地想见你啊。
- とうとう成功した。この日を何年待っていたことか。/终于成功了。这一天盼了多少年啊。

(13) ～ことなく或～ことなしに。

用于句子的中顿。表示本来有可能做或者出现的事情，却没有做或者不出现。一般用于书面语。相当于汉语中的“不……（就……）”。它的接续方式为：动词基本形＋ことなく/ことなしに。

- 雪は止むことなく降りつづいている。/雪不停地下着。
- 山田さんは20年間休むことなく会社に通った。/山田先生在公司工作20年，从没请假休息过。
- 彼は先生にも友達にも相談することなく、帰国してしまった。/她没跟老师及朋友们商量就回国了。

(14) ～こと。

用于句末，以严厉的口吻表示忠告、命令。它的接续方式为：“动词/形容词/形容动词”的连体形＋こと/名词＋の＋こと。

- 朝8時に出勤すること。/早上八点上班。
- 教室では、タバコを吸わないこと。/在教室里不准抽烟。
- 図書館から借りた本は、一週間以内に返すこと。/从图书馆借的书要在一周内归还。